

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

## 株式会社大久保硝子店

山形市にある株式会社大久保硝子店の鍛冶玲菜さん取材しました！  
鍛冶さんは秋田県出身で、山形大学地域教育文化学部文化創生コースを卒業した後、  
2021年に入社しました。現在は業務部で勤務しています。

### (1) 仕事内容編



——現在の仕事内容について教えてください。

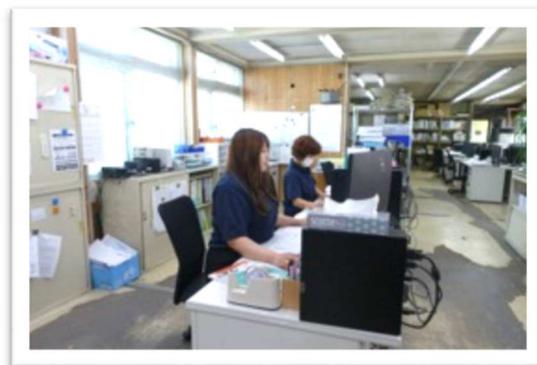
私が所属している業務部は、主に営業担当が受注した物件について、建材メーカーごとの専用システムを使っての見積もりや手配をしています。また、会社の窓口として、電話対応や来客対応もします。

加えて、採用担当として、外部の会社説明会、インターンシップ、個別説明会なども行います。私がメインの採用担当として学生さんに対応しています。

——大久保硝子店では、業務部の他にどのような部署があるのですか。

大久保硝子店は主に建築用のガラスを販売しており、そのための部門が5つあります。営業部、職人がいる工務部、そして私たちの業務部があり、プラスして新事業として立ち上げたガーデン事業部と、ものづくり事業部があります。

私が入社した時点では、ものづくり事業部はなく、私の同期が立ち上げメンバーになって動き始めました。



——入社して良かったと思うことはありますか？

社員数が11名と少人数なこともあり、各々が個性を活かしながらもチームとして協働できる部分にとっても魅力を感じています。少人数では与えられる1人1人の役割が大きくなる分責任感が伴う場面もありますが、社長の思いからも個人個人の特性・取り組み方を尊重してくれる部分が多く、任せてもらえる嬉しさの方がより大きいと感じています。

——少人数で、大変だと思うことはありますか？

採用担当の私が会社の顔として、外部の人への挨拶や説明、お客様とのやりとりをするので、自分一人の行動が会社の印象になります。そのため、自分の責任の大きさを感じます。



## ——仕事のやりがいは何ですか？

業務部の仕事は、現場に出ることはあまりないですが、自分や会社が関わった建物が半永久的に残り続けるのはすごく魅力的だと思っています。

例えば、みはらしの丘の近くにあるコパルという児童遊戯施設がありますが、そのガラスは当社が施工しました。それだけでなく、一般のお客様の暮らしに関われる喜びがありますし、お客様に「よかったよ、ありがとう」という言葉をいただくと、やりがいを感じます。

採用担当として活動しているときもやりがいを感じる場面があります。学生さんが会社のことに共感してくれたら嬉しいですし、そのときに「自分の会社はこういう魅力がある」と再認識するので、働いていてよかったと思います。

## (2) 職場編



## ——地域教育文化学部出身ですが、教員をめざしていたのですか？

私は山形大学地域教育文化学部文化創生コースで、音楽/トロンボーンを専攻していました。もともと教員になりたいと思って進学したのですが、実際に授業を受け、教員になった先輩の話聞く中で、自分が思い描いていた教員のイメージとギャップを感じました。それから民間を視野に入れるようになり、4年生の3月から本格的に就活を始めました。

## ——大久保硝子店を知ったきっかけは何ですか？

遅めの就活スタートだったこともあり、就活サイトを眺めても条件面ばかりが目に入ってしまい、自分が何を仕事にしたいかわからない状態が続きました。そのうえ、コロナ禍で採用も厳しくなっていて、自分の視野も狭く、本当にこのままでいいか悩んでいたときに、大学のキャリアセンターに相談に行きました。そこで紹介された会社の中に、大久保硝子店がありました。



## ——大久保硝子店に就職した決め手は何ですか？

まず、大企業と中小企業の働き方を比較したときに、大規模になればなるほど人数が多く、自分がやる仕事の幅が狭くなります。例えば、有名化粧品会社に入れたとしても、自分のやりたい部署に関われるかわかりません。中小企業であれば、もし自分が望む部署ではなかったとしても、自分の意見や意思を反映させることができ、自分の個性を出していけるという魅力を感じました。

また、大久保硝子店では、新入社員が新規事業の立ち上げメンバーになっていると聞き、とても魅力的に感じました。「若手が活躍できる環境があって、ベテランの意見も吸収しながら、若手にしか出てこない発想や意見を活かして、会社として成長していきたい」と社長が仰っていて、自分もイキイキ働けると思いました。仕事内容というよりも、最終的には「自分の働き方をこうしたい」と共感して、大久保硝子店に決めました。

### ——会社の雰囲気はいかがですか？

会社の雰囲気としては、家族間のようにお互いの個性や特性、能力などを認め合うような風土があると入社時から感じておりました。大人数になるほど各々の個性が薄まってしまい、集団的な行動を求められるイメージがありますが、当社では得意な分野は活かし、不得意な部分はリカバリーしあえる風土があります。

社長が「こういうふうになりたい」とよく話しているのが、ワンピースという漫画です。一つの船に乗っていても、海賊王になりたい人もいれば、大剣豪になりたい人もいます。同じゴールに向かっていてもそれぞれの役割や目的が違うのですが、それでいいという考えです。

社員にはそれぞれ個性がありますが、共通しているのは、気持ちが前向きで向上心があるところです。会社として「こういうのをやりたいね」という案に対して、「いやいや」と言う人がいないですね。



### (3) ある日の過ごし方編

#### ● 8:30 【始業】

毎朝 10 分程度、全員で掃除をします。

#### ● 8:40 【入荷チェック・発注】

建材メーカーから入荷した商品を確認します。  
午前中に注文手配しなければならないものから処理していきます。  
その間、別メーカーからの荷受けの確認や、電話対応をします。



#### ● 12:00 【お昼休憩】

家から持ってきたお弁当を食べます。各自が好きなように過ごしていて、社内でみんなと食べる人もいれば、家に帰って食べる人もいます。

#### ● 13:00 【業務再開】

見積もりに関してシステム入力をします。  
採用担当として行うタスクもあるので、午後のうち 1～2 時間程度は説明会やインターンシップの準備等に当てています。



#### ● 17:30 【終業】

自分の仕事が終わったら帰ります。仕事が立て込んでいる時期は、6 時頃になることもあります。  
ただ、それぞれが自分の仕事の状況を見て帰るので、周りに合わせて残業するような雰囲気はありません。

#### (4) むらやまでの暮らし編

##### ——山形の良いところはどこだと思いますか？

山形の好きなところはたくさんあって、まずご飯が美味しいことです。特に、日常的に食べるものに美味しいものがたくさんあると思います。高級フレンチとかではなくて、定食屋さんやラーメン屋さんといった、日々の生活で手の届く範囲で、リーズナブルな価格で美味しいご飯が食べられます。

食材の宝庫でもあります。果物も野菜も美味しいし、それを活かしたレストランがたくさんあります。地元の野菜を使ったカフェや、古民家を利用したカフェもあって魅力的です。お酒も美味しい！



——秋田のご出身ですが、山形で就職を決めたのはどうしてですか。

実家は秋田と山形の県境にあるので、帰省するにしてもアクセスがよかったことと、大学が山形にあったことです。

就活の段階では結構広い範囲で考えていたのですが、都会で働き続けられるのかと考えたとき、馴染める自信がありませんでした。住む場所としても働き方としても、田舎でのんびり暮らすほうが合っていると改めて思い、山形に留まりました。

——山形の暮らしやすさはいかがですか？

生活しやすいと思います。スーパーやドラッグストアといった日常的に使う施設はすぐに行けますし、車を 30 分走らせれば自然もありますから、そのどちらも楽しめるのが良いところです。休日は、自然の空気を味わったり、滝を見に行ったりしています。

——大変なことはありますか？

雪国で育ったので、暑いのがすごく苦手です。生まれ育った秋田は、30°Cいけば大変なことでしたので、山形の暑さや湿度はどうにも慣れないです（笑）。

ただ、雪はそこまで大変だとは思いません。



## (5) まとめ編

———今後の目標を教えてください。



会社の皆の潤滑剤になりたいと思っています。もちろん皆が同じ考えで生きていませんし、仕事に対する思いの度合いも違う中で、皆の思いがうまくまとまらないときもきっとあると思います。ただ、お互いを認め合って、協力していきたいと思うので、その環境づくりをしたいです。

私は、状況を考えて提案をするのが得意だと自己分析しているのですが、そのような提案は、社員がどういうふうを考えているかを吸収しながら進めていかなければならないと思います。そういう皆の思いを吸収して形にすることを、自分が担っていきたいと思います。

——これから就職活動をする学生にメッセージをお願いします。

自分がどういう働き方をしたいか、人生の中で働くこととどう関わっていきたいかを今一度考えてほしいと思います。例えば、好きなことを仕事にするのは素敵ですが、好きだけを理由にしないほうがいいです。好きな仕事でも、残業が多くてプライベートの時間が取れないことや、自分与えられる役割に満足度が得られないこともあります。「自分はこういうふうに働きたい」というイメージをしっかりとって、そういう会社を見つけたほうが、気持ちよく長く働き続けられると思います。

また、人を見てほしいです。なんだかんだ言っても辞める理由で一番多いのは「人」です。採用担当者や会社の雰囲気を見て、一緒に働きたいと思える人がいるか、その環境に自分がいるイメージが持てるかを考えてみるといいと思います。

——ありがとうございました！



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 高嶋乙羽、金成紗弥、医学部 村岡丈太郎】

## 株式会社大久保硝子店

---

★山形の暮らしに「幸せ」と「楽しみ」を  
山形で硝子を売り続けて創業 104 年。  
硝子だけに留まらない"暮らし屋さん"として事業を展開中！

- ◆若手が活躍できる環境(平均年齢約 35 歳)
- ◆"with"な働き方(社員の声を働き方に反映)

- ・所在地 山形県山形市香澄町 2-2-1
- ・設立 昭和 25 年 7 月
- ・従業員数 11 名 (男性 5 名、女性 6 名)
- ・事業内容 建築資材の卸売・小売  
庭造り事業"growth garden"
- ・URL <https://www.okubo-glass.co.jp/>

